

懇親会 次第

司会	三十五回生	石井 庸三
開会		
乾杯	十三回生	石川 治
祝電披露	衆議院議員	藤村 修
「千里山駅周辺 整備事業」紹介	十五回生	山本平八郎
各班での写真撮影	三十九回生	増田 泰邦
歌声喫茶	三十二回生	古川 道子
伴奏(ギター)	三十五回生	石井 庸三
みんなで歌いましょう	合唱	隊
伴奏	三十一回生	杉山 秀子
閉会(中締め)	三十九回生	澤田 純
校歌斉唱・今日の日よさようなら	全	員

総会が終わり、約十分の休憩後、懇親会が始まりましたが、本月初参加で千三小学校一回生ご卒業の清水浩治様が仕事の都合上やむなく総会終了後、お帰りになりました。清水浩治様は千二小・十四回生・諏佐和

子様のご長男です。皆様よくご存じの諏佐齒科は、現在も清水様の伯母様が引き続き開業されていると聞いております。

今回より懇親会の司会は三十五回生 石井庸三様が代わってやっていたが、先ほど報告しましたように、若手メンバーによって事前に十分検討されたことと石井さんの手際良さとでテンポよく、快活に進行しました。マイクにピアノ・ギター・ウクレレ演奏と一人数役の大活躍でした。

開会&乾杯

アメリカ・カリフォルニアよりお見えの十三回生石川治様の発声をもちまして、懇親会の開会と乾杯が行われました。

なお、今回からは食事はビュッフェスタイルなので、司会者よりその旨の説明がありました。

祝電披露

司会者により前吹田市長 坂口善雄様よりの祝電が披露されました。

「千里山駅周辺整備事業」紹介

千里山地区も近年では踏切を中心とした駅周辺の交通環境の改善が、地域の大きな課題となっています。千里山駅周辺整備事業は、老朽化した千里山団地の建て替えと合わせて、この課題解消を目的とした総合的・一体的な整備事業で、十五回生、且千里山に今もお住まいで毎年この千里山会に出席頂いている山本平八郎様より説明を受けました。内容を26〜29頁に掲載しております。

各班での写真撮影

恒例の各班別の写真撮影を三十九回生 増田泰邦様にやっけていただきました。30〜34頁に掲載しております。

歌声喫茶

三十二回生古川道子さんがマイク片手に各テーブルを回り進行係を務め、懇親会の司会者石井さんがギターを持ち伴奏係を務め、歌声喫茶が始まりました。これこそ今回最も力を入れた企画で、千里山会は親子ほど年の離れた年齢層に渡っておりますので、選曲も随分気を配り、試行錯誤を重ねましたが、正直言って皆様のノリは今ひとつ。従来と少しかけ離れ過ぎた企画だったのででしょうか？ でも昭和30年代の歌声喫茶（「ともしび」など）世代が多いと思ったのですが？ 準備された曲（途中の雰囲気で縮小）
青い山脈、浜辺の歌、学生時代、鈴懸の径、
泉のほとり、カチューシャ、森へ行きましょう、一週間、ともしび、おおプレネリ、湖畔の宿、誰か故郷を
思わざる、漕げよマイケル

選曲が悪かったのか、根回し不足だったのか、一年に一度の再会ゆえ歓談中心がやはりいいのか、大いに悩むところです。皆様からの生の声を求めます。事務局へご意見下さい。

隊および出席者一同で歌ってお別れしました。

今年もまた受付、会場設営・準備に当たり次の方々
に終始ご協力を賜りました。
26回生の奥田（渡部）英子・児玉（服部）絢子・澤田（大貫）操子、27回生 宮林（村田）芳子の皆様。
写真は、39回生増田泰邦さんにご協力願ひ、心より厚く御礼申し上げます。

歌声喫茶もそこに切り上げ、再びしばしの歓談をしていただきました。その後、いよいよ恒例の合唱の時間となりました。

指揮は三十二回生 古川さん、ピアノ伴奏は31回生 杉山秀子さんです。合唱隊が前に出て、その主導で何人かの飛び入りも含め、次の歌が披露されました。大きな古時計、ローレライ、千里第二小学校校歌、千三小学校校歌

菊花プレゼント

これまた恒例となりました二十四回生河井様よりご提供いただいている菊花を、それぞれのテーブルでお持ち帰りいただく方を抽選等で決めていただきました。

中締め

三十九回生の澤田純さんに中締めしていただき、いよいよこれまた恒例となっておりますフィナーレの「今日の日はさようなら」を杉山秀子さんの伴奏、合唱

美しい記念切手を買って下さい (事務局)

発売方法・今年の総会時 会場にて(額面)

- ① 1シート80円×10枚+冊子Ⅱ千円
- ② 1シート40円×10枚+冊子Ⅱ6百円
- ③ 切手はシート単位とし、冊子(2百円)それぞれをバラ売り
冊子Ⅱ「まちづくり作法集Ⅱ」と80円シートは50部ぐらいあります。

おつり不要でお願いします。

●千里山駅周辺の整備計画



●千里山地区の概要

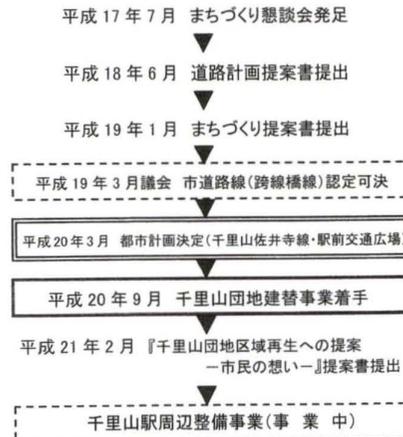


千里山地区は、大正末期に住宅地が開発され緑豊かで閑静な住宅街として市街地が形成されてきました。しかし、近年では、踏切を中心とした千里山駅周辺の交通環境の改善が、地域の大きな課題となっています。課題解消のため、千里山駅周辺整備事業は老朽化した都市再生機構（UR）千里山団地の建替えと総合的・一体的な整備を行うものです。

●千里山駅周辺整備事業のこれまでの歩み

右の4つの課題の解消のため、平成17年7月にまちづくり懇談会を発足し、市民・UR・吹田市等とでまちづくりについて話し合い、計画を積み上げて、現在に至っています。

- 課題1 踏切の安全性
- 課題2 駅前都市機能の不足(駐輪場等)
- 課題3 都市計画道路(千里山佐井寺線)の未整備
- 課題4 千里山団地の老朽化



まちづくり懇談会の様子



提案書を市長へ提出

凡例
 まちづくり懇談会
 吹田市
 法手続き
 都市再生機構 (UR)

- 団地居住者の居住の安定に配慮しながら、居住水準の向上と敷地の有効高度利用を図ります。
- 吹田市と連携を図り、地域のまちづくり課題を解消するための駅周辺整備計画と一体的に事業を進めます。

周辺との一体的なまちづくり

団地建替事業と駅周辺整備事業を効率よく一体的に推進し、団地を含めた地域全体を、より一層魅力あるものにしていきます。

- ◎ 駅周辺整備に協力しています
- ◎ まちづくり課題の解消に努めます

団地環境資産の継承

千里山の丘陵地形や豊かな緑環境を、大切に継承していきます。

- ◎ 地形を活かした景観をつくります
- ◎ 樹木の保存や更新に努めます
- ◎ 伐採木や資材のリサイクルに努めます

環境に配慮したまちづくり

まちや住まいのライフサイクル(建設・居住・改修・解体)を通じた省エネを目指しています。

- ◎ 建設副産物のリサイクルに努めます
- ◎ 断熱性の向上による省エネに努めます



居住水準の向上

美しく安全で快適な住環境を提供します

- ◎ 住宅性能・設備水準を向上させます
- ◎ 多様なニーズに対応した良質な住宅ストックを形成します

建物イメージ

千里山建替事業の概要

	建替前	建替後(先工区)
戸数	724戸	約350戸※
階数	4階	5～8階
型式	2K～2DK	1DK～4LDK
専用面積	約35㎡	約43～約90㎡

※ 先工区のみ建設戸数。後工区の土地利用は未定。

＜発行＞平成22年(2010年)3月
吹田市 都市整備部 都市整備室

電話：06-6384-1969
FAX：06-6368-9901

独立行政法人都市再生機構 西日本支社
団地再生業務部 団地再生計画第1チーム
電話：06-6969-9747
FAX：06-6969-9953

歩行者の安全を確保した都市計画道路イメージ

■ 都市計画道路 千里山佐井寺線
両側4.5mの自転車歩行者道を整備します。歩道部分については、透水性舗装をおこなう環境負荷軽減にとめます。

新断面図
千里山佐井寺線(先工区)一般部

千里山佐井寺図書館前より西側方向

踏切より東側方向

駅前交通広場と跨線橋イメージ

■ 跨線橋
跨線橋線により車の東西連絡機能を確保。これにより、踏切内は歩行者・自転車専用となります。

■ 駅前交通広場
駅前交通広場には、人の広場及びバス・タクシー等の待機場所を整備。将来は路線バスの乗り入れ予定。

駅ホームから見た跨線橋

改札付近から見た駅前交通広場



18 池田・名田 17 波田
18 劉・村中 17 神谷
17 北浦・吉川



14 山崎・三分一 11 平井・伏見 14 柿崎
12 石川忠 9 飯島 13 石川治



全員 20 回生 浅野 久保 藤川 三輪
長谷川 和田 三笠 保富



16 清水 15 赤羽 21 大森 15 山本
22 尾川原 21 小原・大久保



全員 27 回生
大石 萩原 林 高見
村田 吉田 井筒



23 平川 24 市原・奥田・河井
24 南條 23 保富・片山 25 山崎



31 石井・田部・後藤・小野
30 副島・中瀬・池原 29 岩瀬・上田



全員 26 回生
中瀬 大貫 村岡 大森 浅野 服部
河井 村岡 渡部



39 増田 44 肥塚 35 石井 33 佐々木 32 一井 39 澤田
43 堤 32 藤本 32 深川



合唱隊